

会議・セクター	開催予定／実績	主な内容・議題・進捗状況
総合事務局 (企画運営会議・調整会議)	6月18日(木) 第1回調整会議 9月11日(金) 第1回企画運営会議 12月18日(金) 第2回調整会議 3月18日(金) 第2回企画運営会議 毎月第一土日 赤谷の日 (2-3月は休み)	①「赤谷の森基本構想 2015PR版」(赤谷の森だより 9月号) ②赤谷の森・管理経営計画書策定への助言等 他
赤谷プロジェクト地域協議会		①「森の恵みと学びの家」を拠点とした持続的な地域づくりのための活動 ・カスタネットなどの地域産業育成と社会環境の整備 ・安定した地域の資材供給の確保と商品の販路開拓への取り組み ・須川宿の自然と文化・歴史などを活かしたツーリズムづくり ②三国街道の活用と環境教育活動 ・季節別ルートマップ作製やツアー造成を図る ・地元小中学生などへの環境教育活動：新治小学校サマースクール 7/22、遠足 10月6日(予備日 8日) ③赤谷プロジェクトの普及啓蒙活動 ・akaya カフェの開催、みなかみ「ココイラ」、赤谷湖湖上花火大会への参加など ・地域協議会広報誌「おはようカワガラス」の発行、「学びの家」Facebook ページの作成など ④その他 ・赤谷の森学校への協力 ・法人化へ向けた取り組み
関東森林管理局 (赤谷森林ふれあい推進センター、 利根沼田森林管理署)		【赤谷森林ふれあい推進センター】 ①地域活動(広報/環境教育/視察対応等) ・赤谷の森だより発行年4回(7月、9月(基本構想PR版)、11月、2月)、ブログ、メルマガ、上毛高原駅ブース(5月1ヶ月間)、森の恵みと学びの家他 ・赤谷の森自然散策：みなかみ町観光課・民話と紙芝居の家と連携(5/23：参加者20名、10/24、2/11) ・外部イベントの参加：赤城南ろくフェスタ 4/11、敷島公園祭り 4/29、サラダパークぬまた春の森まつり 5/10、NPO 利根沼田ボランティアセンター「森のようちえん」11/8、環境と森と木のまつり(みなかみ町地内) 11/3、県自然環境課企画活動展示会 1月未定 ・みなかみココイラ 10/1~10/18 未定 ・環境教育の取組：千葉市立蘇我中学校 14名 5/13、山王中学校 180名 6/5、旭が丘中学校 20名 6/13、椿森中学校 20名 6/19、新治小 5年 7/22・6年未定、沼田北小 54名 10/7、おゆみ野中 2年特別支援学級 6/27 他 ・研修セミナーへの協力：放送大学 5/16~17、群馬県農林大学校 10/15、利根実業高校、環境省自然保護官研修 11/5、林野庁研修 8/26、11月、等随時対応 ・視察対応：日本森林林業振興会 5/21、NPO 法人森びとプロジェクト 8/29 等随時対応 ②赤谷プロジェクトの知見を活用した環境教育(赤谷センター) ・ホンドテンを題材にした環境教育教材の開発 ③調査活動 ・捕獲を前提とした低密度下におけるニホンジカ誘引手法の検討/ASTR 調査の教材開発 【利根沼田署】 イヌワシ試験地 231ろ林小班保護伐(皆伐)箇所の枝条整理方法について、請負業者、赤谷プロジェクト猛禽類WG及び赤谷森林ふれあい推進センター、利根沼田森林管理署で、7月上旬に現地打合せ予定。 【計画課】 利根上流森林計画区 地域管理経営計画(「赤谷の森 管理経営計画」)等の策定
日本自然保護協会		①支援企業のCSR活動との連携：(株)ニコン、(株)資生堂、(株)千趣会、(株)カインズ 他 - (株)ニコンHP用の動画撮影(8月頃) 他 - 新たな支援企業の開拓と視察等の受け入れ(随時) - 森の恵みと学びの家での木工ワークショップ(8/22) *(株)カインズ ②イヌワシ生息環境向上(寄付金及びサントリー世界愛鳥基金助成金を活用) - イヌワシ試験地でのビデオモニタリングの実施、取り組みと成果の発信。 - イヌワシ・クマタカの生息環境向上を担う人材づくりと、ASTR調査体制の充実。 ③赤谷プロジェクトの発信等 - 板橋区立エコポリスセンター夏休特別展示(7/18-8/31) - 赤谷の森 自然探検隊(8/3-5)、自然林復元100年モニタリング調査会(10/10-11) *赤谷の森学校 共催 - HPのリニューアル
自然環境モニタリング会議	第1回：9月頃 第2回：1月頃	①各WGの2011-2015年の活動の成果と課題、2016-20年の活動計画を統合的に評価し全体の整合性を確保する。
植生管理WG	第1回：7月頃 第2回：8-9月頃(現地) 第3回：1月頃	①2016-20年の活動計画の策定 ②地域づくりWGと連携して、木材資源の利用をする場合に、生物多様性保全との両立する植生管理手法について検討する。 ③間伐および主伐を用いた自然林復元の試験地設定の検討 ④通常施業として行なわれる間伐と主伐(主に契約に基づく林分)について、生物多様性保全と自然林復元を念頭に置いた助言を行なう。これまでの助言を蓄積した事例集を作成する。
ほ乳類WG	第1回：8月18日 第2回：11-12月頃	①2016-20年の活動計画の策定 ②ニホンジカを低密度に維持するためのニホンジカの摂食状況の

		指標および現状評価方法の検討
猛禽類モニタリングWG	第1回：6月26-27日（現地） 第2回：11月3-4日（現地） 第3回：1月頃	①2016-20年の活動計画を策定する。 ②クマタカのハビタットの質を向上させる森林管理手法について基本計画を策定する。→既知の営巣林について林分構造の調査を行い、同一標高にある人工林を将来的にクマタカが営巣可能な森林に移行させるための施業方法等について検討し提案する（※植生管理WGとも連携） ③イヌワシ試験地ー第1次実施計画を遂行し、第2次実施計画について検討を行なう。
溪流環境復元WG	第1回：6月22日 第2回：1月頃	①2016-20年の活動計画を策定する。 ②望ましい「溪流環境の生物多様性」の把握と評価を進めるため、指標や評価方法の開発に向けて、溪流環境の把握手法と活用方法を確立する必要があることから、具体的なアクションについて検討する。 ③茂倉沢におけるモニタリングについて、結果を把握するとともに、結果の評価に向けて検討する。
環境教育WG	第1回：7月12日（現地） 第2回：7月25-26日（現地） 第3回：10月17日（現地） 第4回：3月頃	①2016-20年の活動計画を策定する ②いきもの村環境管理計画の実施と検討 ③小出侯を活用した“教育的な過ごし方”のメニュー作成。 ④赤谷の日の活動の検討
地域づくりWG	第1回：7月下旬頃 第2回：12月頃	①2016-20年の活動計画を策定する ①赤谷の森の資源利用ニーズの掘り起こしと整理 ～カスタネット・学習机・カトラリー・おもちゃ等 ②赤谷プロジェクト活動報告会の開催（10月末頃） ③a k a y aカフェの開催 ④赤谷の森に隣接する民有林との連携した取り組みの検討 ⑤みなかみ町と連携した取り組み ⑥地域協議会の活動の支援
フィールド利用管理WG	予定なし	
赤谷の森基本構想改定検討会		「赤谷の森基本構想2015PR版」作成

#### <自然環境モニタリング会議及び各WG等の委員>

##### 自然環境モニタリング会議

座長：亀山章（東京農工大学名誉教授／景観生態学）

委員：梶光一（東京農工大学教授／動物生態学）、田中浩（森林総合研究所 研究コーディネータ／森林生態学）、  
土屋俊幸（東京農工大学教授／森林政策学）、中井達郎（国土舘大学非常勤講師／自然地理学）、  
山崎亨（アジア猛禽類ネットワーク会長／鳥類生態学）

##### 植生管理ワーキンググループ

座長：田中浩（森林総合研究所 研究コーディネータ）

委員：亀山章（東京農工大学名誉教授）、酒井武（森林総合研究所）、長池卓男（山梨県森林総合研究所）  
長島成和（株式会社興林）

##### 猛禽類モニタリングワーキンググループ

座長：山崎亨（アジア猛禽類ネットワーク会長）

委員：松本文勝（日本イヌワシ研究会）、水上貴博（日本イヌワシ研究会）、横山隆一（公益財団法人日本自然保護協会）

##### ほ乳類モニタリングワーキンググループ（今年度はニホンジカ検討チーム委員を含む）

座長：梶光一（東京農工大学教授）、

委員：長池卓男（山梨県森林総合研究所）、吉川正人（東京農工大学准教授）、赤坂宗光（東京農工大学講師）

##### 溪流環境復元ワーキンググループ

座長：中井達郎（国土舘大学非常勤講師）

委員：高橋剛一郎（富山県立大学教授）

##### 地域づくりワーキンググループ

座長：林泉（赤谷プロジェクト地域協議会代表幹事）

委員：土屋俊幸（東京農工大学教授）、茅野恒秀（信州大学准教授）

##### 環境教育ワーキンググループ

座長：横山隆一（公益財団法人日本自然保護協会）

##### 基本構想改定検討会

委員：土屋俊幸（東京農工大学教授）

以上